

| | | | |
|---|---|-------|-----------|
| 科目名 | | 衛生学実習 | |
| 科目責任者 辻 真弓 (衛生学 教授) | | | |
| 開講時期: | 2～4年次 | 単位数: | 6 単位 |
| | | 時間数: | 90分× 90 回 |
| <p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>化学物質曝露がヒトに与える影響を評価するために必要な環境毒性学的手法を調べ、医学的研究をデザインし実施する方法を習得する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 人を対象とする医学系研究に関する倫理申請書類を作成できる。 2) 実験動物、遺伝的操作に関する申請書類を作成することができる。 3) 化学物質曝露が与える影響を評価するために必要な試料を採取するための計画を立案できる。 4) 目的とする研究に適した研究デザインを創出できる。 5) 実験に用いる化学物質の性質や反応性について熟知する。 | | | |
| ● 評価方法 | プレゼンテーション内容50%、討議への参加度20%、課題レポート30%で総合評価する。 | | |
| ● 参考文献 | 実習の中で必要に応じ紹介する。 | | |